

# 令和3年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 1

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

## 〈知 育〉 ○ 主体的な学びと確かな学力

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知  育	1 分かる・できる授業による学力向上	○ 必要に応じて ICT 機器を授業に取り入れる機会が増えたことにより、児童もタブレット操作に慣れ、学習意欲が高まり、理解を深めることができた。 ○ GIGA スクールサポーターによる教師のニーズに応じた ICT 活用の研修会を実施し、計画的に授業をサポートしていただき、有効に活用できるようになってきた。 ※学びたい度 85%	2.88	3.38	3.40	○ GIGA スクールサポーターによる授業へのサポートが有効に活用できるよう一層の向上を期待する。 ○ 1年生からタブレットを活用した授業に取り組む等、子どもたちの学習意欲が向上するためにGIGA スクールサポーターの活用等、積極的に取り組まれている。 ○ 対面での授業が難しい中、タブレット等の活用は時代の流れでもあるのでしょうか。 ○ 家庭でのICT教育も大切だと感じる。 ○ タブレット等に慣れ親しむと同時にPTA向けにSNSのルールやマナー講座も開催されて良かった。
	2 研修の充実と授業の相互公開	○ 一人一授業の公開を行うことにより、個々の授業改善を図ることができた。	3.17	3.28	3.20	○ 先生方の共通理解・共通実践がいろいろな差をなくし、改善につながると思われる。
	3 家庭学習・読書活動の充実	○ 家庭訪問で家庭学習資料を配付し、保護者との共通理解を図り、共に見守る素地づくりを行うことができた。 ○ 各週間を設定し、親子で振り返ることで望ましい学習・読書習慣を育んできたが、個人差が見られ、手立ての必要がある。	3.00	3.37	3.20	○ 家庭学習と家庭読書は家庭でしっかり身に付けさせる手立てが必要である。 ○ 保護者と共に取り組むことは大変難しいと思うが、保護者の評価アンケートの結果が高いので、家庭学習につながっていると思われる。 ○ 今の子どもたちは家で本を読む機会がどれくらいあるのでしょうか。ペーパーレス、デジタルで本が読める時代で、紙媒体の読書を是非勧めたい。
	4 特別支援教育の充実	○ 必要に応じて特別支援教育委員会を実施し、困り感のある児童への指導について共通理解した対応ができた。	3.00	3.40	3.40	○ 特別支援の子どもが増えていることで、多様化した対応ができるようになってきていると思うが、大変な取組だと思う。できることはしっかり対応されていることがありがたい。

